平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　佐賀県　　総務省

ー 目次 ー

市町村・組合名	病院名	ページ
-	佐賀県医療センター好生館	2
佐賀市	佐賀市立富士大和温泉病院	3
唐津市	唐津市民病院きたはた	4
多久市	多久市立病院	5
小城市	市民病院	6
大町町	町立病院	7
太良町	町立太良病院	8
伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院	9

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	
病院名	佐賀県医療センター好生館

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		832,832
決算規模 (千円)		433,789,513
標準財政規模 (千円)		257,991,404
財政力指数		0.34776
経常収支比率 (%)		93.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.6
	将来負担比率 (%)	112.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,430			
1 経常収益	13,430			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,430			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,430			
2 経常費用	13,430			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	50.2
② 材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.3
④ 経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,430			
(うち支払利息)	13,430	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	佐賀市
病院名	佐賀市立富士大和温泉病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	8,392 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	54	87.9	85.3	87.1
療養	44	50.0	52.7	59.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	70.9	70.7	74.8
平均在院日数（一般病床のみ）		19.9	19.9	19.0

設立団体の状況

人口 (人)		236,372
決算規模 (千円)		99,025,349
標準財政規模 (千円)		53,795,230
財政力指数		0.64
経常収支比率 (%)		90.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.9
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	80.9
修正医業収支金額 (千円)	1,124,052

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	238,087	239,820
資本勘定繰入	105,807	109,986
計	343,894	349,806

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,464,783			
１ 経常収益	1,464,783			
（1）医業収益	1,160,346			
① 入院収益	652,791			
② 外来収益	416,317			
診療収入計	1,069,108			
③ その他医業収益	91,238			
（うち他会計負担金）	36,294			
（2）医業外収益	304,437			
（うち国・都道府県補助金）	1,548			
（うち他会計補助・負担金）	203,526			
（うち長期前受金戻入）	89,064			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,461,643			
２ 経常費用	1,461,643			
（1）医業費用	1,389,649			
① 職員給与費	825,099	71.1	55.9	69.4
② 材料費	159,290	13.7	24.0	17.1
（うち薬品費）	108,846	9.4	12.4	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	49,341	4.3	11.1	5.8
③ 減価償却費	182,714	15.7	9.2	11.6
④ 経費	218,856	18.9	23.2	31.2
（うち委託料）	125,761	10.8	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	2,257			
⑥ 資産減耗費	1,433			
（2）医業外費用	71,994			
（うち支払利息）	40,875	3.5	1.7	2.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	3,140			
損益 純損益	3,140			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		98.0	98.0
医業収支比率	83.5		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	16.4		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	83.8		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,029,425
１ 固定資産	1,773,898
（1）有形固定資産	1,773,898
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	1,255,527
（1）現金及び預金	1,026,898
（2）未収金及び未収収益	222,015
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	6,614
３ 繰延資産	-
負債合計	2,393,703
１ 固定負債	1,890,812
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,890,812
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	325,849
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,912
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	50,365
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	67,631
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	177,042
（1）長期前受金	2,010,432
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,833,390
資本合計	635,722
１ 資本金	128,800
２ 剰余金	506,922
（1）資本剰余金	84,963
（2）利益剰余金	421,959
負債・資本合計	3,029,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	唐津市
病院名	唐津市民病院きたはた

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,573 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	２０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	56	81.6	88.6	84.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	81.6	88.6	84.9
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		122,785
決算規模 (千円)		69,148,537
標準財政規模 (千円)		35,267,678
財政力指数		0.42
経常収支比率 (%)		91.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.5
	将来負担比率 (%)	109.9

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	86.8
修正医業収支金額 (千円)	496,742

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	97,286	97,286
資本勘定繰入	13,425	13,425
計	110,711	110,711

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	610,482			
1 経常収益	610,342			
(1) 医業収益	536,430			
① 入院収益	329,169			
② 外来収益	139,009			
診療収入計	468,178			
③ その他医業収益	68,252			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	73,912			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	57,598			
(うち長期前受金戻入)	10,982			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	140			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	597,350			
2 経常費用	593,820			
(1) 医業費用	572,101			
① 職員給与費	290,577	54.2	55.9	69.4
② 材料費	25,559	4.8	24.0	17.1
(うち薬品費)	5,080	0.9	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,479	3.8	11.1	5.8
③ 減価償却費	37,039	6.9	9.2	11.6
④ 経費	217,996	40.6	23.2	31.2
(うち委託料)	57,963	10.8	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	694			
⑥ 資産減耗費	236			
(2) 医業外費用	21,719			
(うち支払利息)	11,664	2.2	1.7	2.1
(3) 特別損失	3,530			
損益 経常損益	16,522			
損益 純損益	13,132			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.8		98.0	98.0
医業収支比率	93.8		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	18.1		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	86.4		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,617,838
1 固定資産	1,039,324
(1) 有形固定資産	1,037,250
(2) 無形固定資産	2,074
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	578,514
(1) 現金及び預金	511,697
(2) 未収金及び未収収益	65,502
(3) 貸倒引当金 (△)	422
(4) 貯蔵品	1,737
3 繰延資産	-
負債合計	947,331
1 固定負債	648,826
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	500,818
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	144,185
(7) リース債務	3,823
2 流動負債	97,272
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,416
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,268
(6) リース債務	2,798
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,790
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	201,233
(1) 長期前受金	379,047
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	177,814
資本合計	670,507
1 資本金	137,639
2 剰余金	532,868
(1) 資本剰余金	177,223
(2) 利益剰余金	355,645
負債・資本合計	1,617,838
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	多久市
病院名	多久市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,363 ㎡	指定病院の状況	救臨　災　輪
診療科数	16	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	60	73.6	75.2	73.7
療養	45	42.2	42.8	58.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	60.2	61.3	67.2
平均在院日数（一般病床のみ）		18.0	19.1	19.6

設立団体の状況

人口 (人)		19,749
決算規模 (千円)		12,292,113
標準財政規模 (千円)		5,934,338
財政力指数		0.37
経常収支比率 (%)		99.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.9
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	90.2
修正医業収支金額 (千円)	1,325,531

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,408	142,408
資本勘定繰入	9,903	9,903
計	152,311	152,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	2.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,483,137			
1 経常収益	1,483,137			
(1) 医業収益	1,365,219			
① 入院収益	726,267			
② 外来収益	580,235			
診療収入計	1,306,502			
③ その他医業収益	58,717			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	117,918			
(うち国・都道府県補助金)	414			
(うち他会計補助・負担金)	102,720			
(うち長期前受金戻入)	6,619			
(うち資本費繰入収益)	3,597			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,520,931			
2 経常費用	1,520,931			
(1) 医業費用	1,469,715			
① 職員給与費	728,311	53.3	55.9	59.8
② 材料費	425,903	31.2	24.0	17.7
(うち薬品費)	330,390	24.2	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,111	6.8	11.1	8.0
③ 減価償却費	87,702	6.4	9.2	10.4
④ 経費	225,142	16.5	23.2	31.2
(うち委託料)	128,045	9.4	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	2,406			
⑥ 資産減耗費	251			
(2) 医業外費用	51,216			
(うち支払利息)	808	0.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-37,794			
損益 純損益	-37,794			
累積欠損金	37,309			
経常収支比率	97.5		98.0	96.3
医業収支比率	92.9		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	88.2		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,876,195
1 固定資産	1,106,700
(1) 有形固定資産	1,093,487
(2) 無形固定資産	13,213
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	769,495
(1) 現金及び預金	446,638
(2) 未収金及び未収収益	307,452
(3) 貸倒引当金 (△)	1,219
(4) 貯蔵品	16,624
3 繰延資産	-
負債合計	808,696
1 固定負債	461,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	222,615
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	220,473
(7) リース債務	18,014
2 流動負債	209,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,157
(6) リース債務	15,254
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	126,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	138,358
(1) 長期前受金	224,017
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	85,659
資本合計	1,067,499
1 資本金	1,104,808
2 剰余金	-37,309
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-37,309
負債・資本合計	1,876,195
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	小城市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド Ｉ 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	5,538 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	11	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	99	66.7	64.4	65.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	66.7	64.4	65.3
平均在院日数（一般病床のみ）		18.4	17.6	16.9

設立団体の状況

人口 (人)		44,259
決算規模 (千円)		22,564,849
標準財政規模 (千円)		12,043,772
財政力指数		0.41
経常収支比率 (%)		92.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	87.8
修正医業収支金額 (千円)	1,098,193

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	129,822	129,822
資本勘定繰入	23,589	23,589
計	153,411	153,411

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,275,533			
1 経常収益	1,275,533			
(1) 医業収益	1,136,184			
① 入院収益	669,215			
② 外来収益	380,440			
診療収入計	1,049,655			
③ その他医業収益	86,529			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	139,349			
(うち国・都道府県補助金)	895			
(うち他会計補助・負担金)	91,831			
(うち長期前受金戻入)	34,216			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,278,947			
2 経常費用	1,278,947			
(1) 医業費用	1,250,504			
① 職員給与費	774,494	68.2	55.9	69.4
② 材料費	129,311	11.4	24.0	17.1
(うち薬品費)	60,048	5.3	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,890	5.9	11.1	5.8
③ 減価償却費	62,857	5.5	9.2	11.6
④ 経費	207,227	18.2	23.2	31.2
(うち委託料)	80,941	7.1	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	75,401			
⑥ 資産減耗費	1,214			
(2) 医業外費用	28,443			
(うち支払利息)	5,255	0.5	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-3,414			
損益 純損益	-3,414			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.7		98.0	98.0
医業収支比率	90.9		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	89.6		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,382,930
1 固定資産	690,396
(1) 有形固定資産	668,579
(2) 無形固定資産	21,817
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,692,534
(1) 現金及び預金	1,473,846
(2) 未収金及び未収収益	215,158
(3) 貸倒引当金 (△)	98
(4) 貯蔵品	3,628
3 繰延資産	-
負債合計	818,391
1 固定負債	481,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	323,445
(7) リース債務	-
2 流動負債	112,670
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,353
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,778
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,539
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	224,633
(1) 長期前受金	344,937
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	120,304
資本合計	1,564,539
1 資本金	1,417,544
2 剰余金	146,995
(1) 資本剰余金	77,887
(2) 利益剰余金	69,108
負債・資本合計	2,382,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	大町町
病院名	町立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	60.6	74.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	60.6	74.5
平均在院日数（一般病床のみ）		-	34.7	34.7

設立団体の状況

人口 (人)		6,777
決算規模 (千円)		4,663,184
標準財政規模 (千円)		2,455,348
財政力指数		0.33
経常収支比率 (%)		90.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.2
	将来負担比率 (%)	8.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	43,661			
1 経常収益	114			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	114			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	43,547			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	99,653			
2 経常費用	6,929			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	69.4
② 材料費	-	-	24.0	17.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.8
③ 減価償却費	-	-	9.2	11.6
④ 経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,929			
(うち支払利息)	6,186	-	1.7	2.1
(3) 特別損失	92,724			
損益 経常損益	-6,815			
損益 純損益	-55,992			
累積欠損金	437,536			
経常収支比率	1.6		98.0	98.0
医業収支比率	-		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	1.6		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	太良町
病院名	町立太良病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,164 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	7	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	60	77.6	76.5	65.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	77.6	76.5	65.4
平均在院日数（一般病床のみ）		18.2	18.5	18.3

設立団体の状況

人口 (人)		8,779
決算規模 (千円)		6,964,820
標準財政規模 (千円)		3,241,127
財政力指数		0.25
経常収支比率 (%)		88.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	3.5
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	94.9
修正医業収支金額 (千円)	887,875

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	125,998	125,998
資本勘定繰入	55,547	55,547
計	181,545	181,545

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	29.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,173,738			
1 経常収益	1,169,327			
(1) 医業収益	924,558			
① 入院収益	580,490			
② 外来収益	270,702			
診療収入計	851,192			
③ その他医業収益	73,366			
(うち他会計負担金)	36,683			
(2) 医業外収益	244,769			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	89,315			
(うち長期前受金戻入)	62,784			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,411			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,051,226			
2 経常費用	1,050,548			
(1) 医業費用	935,574			
① 職員給与費	472,113	51.1	55.9	69.4
② 材料費	120,974	13.1	24.0	17.1
(うち薬品費)	51,380	5.6	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,594	7.5	11.1	5.8
③ 減価償却費	124,078	13.4	9.2	11.6
④ 経費	213,191	23.1	23.2	31.2
(うち委託料)	47,679	5.2	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	3,728			
⑥ 資産減耗費	1,490			
(2) 医業外費用	114,974			
(うち支払利息)	25,971	2.8	1.7	2.1
(3) 特別損失	678			
損益 経常損益	118,779			
損益 純損益	122,512			
累積欠損金	269,078			
経常収支比率	111.3		98.0	98.0
医業収支比率	98.8		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	99.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,772,010
1 固定資産	1,447,591
(1) 有形固定資産	1,447,591
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,324,419
(1) 現金及び預金	1,158,259
(2) 未収金及び未収収益	159,397
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	6,763
3 繰延資産	-
負債合計	1,669,632
1 固定負債	1,343,938
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,148,426
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	195,512
(7) リース債務	-
2 流動負債	151,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,296
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,227
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,099
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	174,458
(1) 長期前受金	422,356
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	247,898
資本合計	1,102,378
1 資本金	1,343,814
2 剰余金	-241,436
(1) 資本剰余金	23,286
(2) 利益剰余金	-264,722
負債・資本合計	2,772,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	佐賀県
市町村・組合名	伊万里・有田地区医療福祉組合
病院名	伊万里有田共立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,283 ㎡	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	22	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	202	84.6	87.2	83.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	206	83.0	85.5	81.5
平均在院日数（一般病床のみ）		15.6	16.6	15.6

設立団体の状況

人口 (人)	-
決算規模 (千円)	424
標準財政規模 (千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率 (%)	96.4
健全化判断比率 実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 連結実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 実質公債費比率 (%)	-
健全化判断比率 将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	89.6
修正医業収支金額 (千円)	3,339,559

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	372,330	334,766
資本勘定繰入	80,839	54,936
計	453,169	389,702

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	20.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,801,405			
1 経常収益	3,801,405			
(1) 医業収益	3,557,141			
① 入院収益	2,633,537			
② 外来収益	586,031			
診療収入計	3,219,568			
③ その他医業収益	337,573			
(うち他会計負担金)	217,582			
(2) 医業外収益	244,264			
(うち国・都道府県補助金)	1,243			
(うち他会計補助・負担金)	117,184			
(うち長期前受金戻入)	104,948			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,874,912			
2 経常費用	3,874,912			
(1) 医業費用	3,726,612			
① 職員給与費	1,798,336	50.6	55.9	59.2
② 材料費	687,354	19.3	24.0	19.6
(うち薬品費)	316,917	8.9	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	324,139	9.1	11.1	9.2
③ 減価償却費	289,530	8.1	9.2	10.4
④ 経費	938,678	26.4	23.2	27.3
(うち委託料)	274,730	7.7	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	8,838			
⑥ 資産減耗費	3,876			
(2) 医業外費用	148,300			
(うち支払利息)	44,478	1.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-73,507			
損益 純損益	-73,507			
累積欠損金	718,714			
経常収支比率	98.1		98.0	96.1
医業収支比率	95.5		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	89.5		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	5,813,325
1 固定資産	5,195,673
(1) 有形固定資産	4,991,564
(2) 無形固定資産	960
(3) 投資その他の資産	203,149
2 流動資産	617,652
(1) 現金及び預金	27,205
(2) 未収金及び未収収益	562,992
(3) 貸倒引当金 (△)	5,900
(4) 貯蔵品	33,288
3 繰延資産	-
負債合計	4,796,217
1 固定負債	2,843,134
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,592,215
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	211,969
(6) 引当金	-
(7) リース債務	38,950
2 流動負債	605,360
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	194,292
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,381
(5) 引当金	113,357
(6) リース債務	13,101
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	225,001
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,347,723
(1) 長期前受金	1,765,901
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	418,178
資本合計	1,017,108
1 資本金	1,291,446
2 剰余金	-274,338
(1) 資本剰余金	444,376
(2) 利益剰余金	-718,714
負債・資本合計	5,813,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考